わが家の防災メモ

日頃から、災害が発生した時の
避難場所などを話しあっておきましょう。

火事・緊急の場合

あわてず
落ち着いて

119番

緊急連絡先	連絡先	電話	連絡先	電話

家族の連絡先	氏名	血液型	電話	住所	メモ（病気など）
			学校 会社		
			学校 会社		
			学校 会社		
			学校 会社		
親戚・知人の連絡先					
避難場所	津波避難場所		家族が離ればなれになったときの集合場所		
	災害時避難所				

台風時のごみ収集について

お問い合わせ先　久米島町 環境保全課　☎ 098-985-7126

- 午前8時現在に暴風警報が発令中の場合、午前中のごみ収集は行いません。
- 正午までに暴風警報が解除されない場合、その日のごみ収集は行いません。
- 午前8時から正午までに暴風警報が解除された場合、午後から収集します。

緊急時の連絡先				
本庁	久米島町役場　仲里庁舎	各課ごとにお問い合わせください。【総合案内】☎ 098-985-7121		
消防署関係	119	その他の官公署関係	那覇警察署久米島交番 久米島町消防本部	☎ 098-985-2212 ☎ 098-985-3281

り災証明書

り災証明書とは、火災・風水害・地震そのほかの自然災害によって生じた被害の証明書です。自然災害により、家屋などに被害を受けた方で、災害見舞金の申請や損害保険などの請求などに、町や消防が発行するり災証明書が必要となる場合があります。り災証明願が提出され次第、町や消防が実態を調査し証明書を発行します。

お問い合わせ先

●火災・家屋等の浸水について
町消防本部　☎ 098-985-3281

●地震その他の自然災害について
町役場　総務課　☎ 098-985-7121

※大規模災害時には、上記問い合わせ先が変更になります。その場合、防災行政無線や広報車などにてお知らせいたします。

申請にあたり次の書類が必要となります

1. り災証明願 › 町役場総務課・町消防本部にあります。
2. 被害状況等の写真 › 被害全体の写真、被害箇所等被害の状況が確認できる写真
3. 印鑑 › 認め印可

■り災証明書
り災物件を確実な証拠などにより確認できる場合に発行

■り災届出証明書
り災物件を確実な証拠などにより確認できない場合において、り災者からり災の届出がされている場合に発行。

久米島町役場　総務課

〒901-3193 沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地　☎ 098-985-7121

久米島町防災マップ

保存版

作成：平成26年

久米島町防災マップ 震災編

もくじ

2 日頃からの備え
3 地震災害に備えて
5 津波災害に備えて
6 風水害に備えて
7 竜巻から身を守る
7 不発弾を見つけたら
8 避難するときは
9 応急手当てについて
10 地区別防災マップ
●比屋定校区
11 土砂・洪水災害ハザードマップ
12 津波・高潮ハザードマップ
13 避難所マップ
●美崎校区
14 土砂・洪水災害ハザードマップ
15 津波・高潮ハザードマップ
16 避難所マップ
●仲里校区
17 土砂・洪水災害ハザードマップ
18 津波・高潮ハザードマップ
19 避難所マップ
●久米島校区
20 土砂・洪水災害ハザードマップ
21 津波・高潮ハザードマップ
22 避難所マップ
●清水校区
23 土砂・洪水災害ハザードマップ
24 津波・高潮ハザードマップ
25 避難所マップ
●大岳校区
26 土砂・洪水災害ハザードマップ
27 津波・高潮ハザードマップ
28 避難所マップ
29 久米島町避難所マップ
31 久米島町避難所一覧
33 地区別インデックスページ・メモ
35 わが家の防災メモ

日頃からの備え

非常持ち出し袋と保管

1 リュックサックなど背負えるもので

2 1人1個程度に分散して収納

3 季節や有効期限などで入れ替える

4 すぐに取り出しやすい場所に置く

食糧

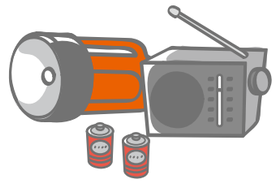
レトルト、フリーズドライ、缶詰のご飯などさまざまな保存食がありますが、特にご飯の用意は重要です。
乳幼児の粉ミルク、離乳食、おやつのストックは十分に。
食料品は最低7日分以上用意しておく。

水

- 1日1人3リットルが目安。
- 生活用水も十分に。
- 乳幼児、病人など家族の状態に合わせ、多めにストック。
- ポリタンクでのストックが便利です。
- 時々水を取り替え、飲用は煮沸してから。

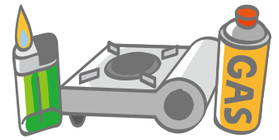
照明・情報

懐中電灯を家族1人1個用意し、予備の電池も十分にストック。
正しい情報の入手のためにラジオを用意しましょう。過去の大地震で情報不足は戸惑いをまねきました。



燃料

ガスの復旧にはかなりの時間を要しますので燃料は用意しましょう。卓上カセットコンロや固形燃料が便利です。カセットコンロのボンベの予備も忘れずに。



持ち出し袋に用意するものチェックリスト

貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 印鑑
- ☐ 保険証　など

洗面用品

- ☐ 石けん
- ☐ 歯磨き用品
- ☐ タオル　など

小物道具類

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 予備電池
- ☐ カセットコンロ・固形燃料
- ☐ 敷物
- ☐ 新聞紙
- ☐ 箸・フォーク
- ☐ 栓抜き・缶切り
- ☐ 大小ビニール袋
- ☐ ひも、粘着テープ
- ☐ 生理用品
- ☐ ハンカチ
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 筆記用具　など

赤ちゃん用品

- ☐ 粉ミルク
- ☐ ほ乳ビン
- ☐ おむつ類
- ☐ ベビーパウダー
- ☐ おもちゃ　など

衣類（季節に合わせて）

- ☐ 下着類
- ☐ 靴下
- ☐ 手袋・軍手
- ☐ 帽子
- ☐ セーター・ヤッケ
- ☐ ひざかけ　など

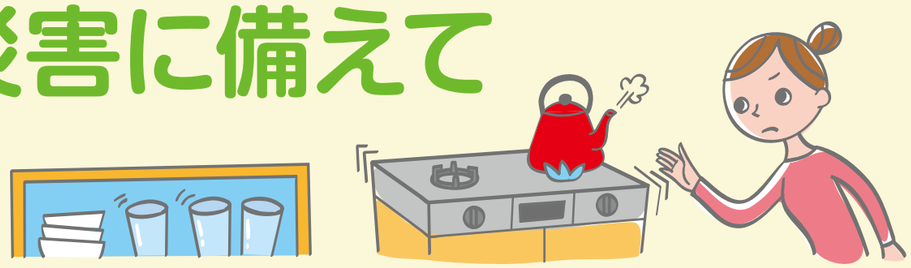
医療品

- ☐ 常備薬
- ☐ 消毒液
- ☐ 包帯　など

水・食糧品

- ☐ 飲料水
- ☐ 各種食品（缶詰・カップ麺などの保存食）
- ☐ 子どものおやつ　など

地震災害に備えて



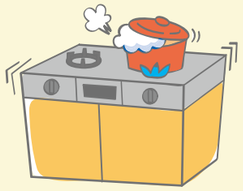
沖縄でも大きな地震は起こります!

沖縄県では、本土に比べて地震が少ない地域のように感じられますが、沖縄周辺では、1年間に1万5千回前後の地震を観測しています。平成22年2月27日（土）には、沖縄本島で99年ぶりに震度5弱の揺れを観測しました。地震による被害を最小限にできるかどうかは、普段の備えとともに、状況に応じてどれだけ冷静な行動をとれるかにかかっています。地震は突然襲ってきます。室内に何気なく置いた家具や家電製品が倒れ、凶器にかわることもあります。家庭内でのちょっとした対策が、あなたの家族の命を守ります。普段から家具や家電製品の固定、倒れた場合に備えた配置、また、建物の耐震化などについて考えましょう!

1 グラッときたら、まず身の安全の確保

タンスや食器棚のそばは危険です。座布団やクッションで頭をおおい、テーブルなどの下にもぐりましょう。

2 揺れがおさまったらすぐに火の始末

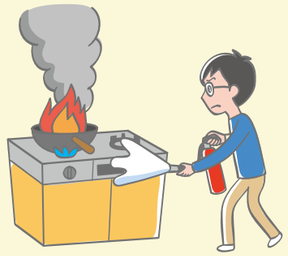


初期消火のチャンスは3回あります。①地震の揺れ始め、②揺れがおさまった時、③出火直後です。ただし、①の時は無理をせず安全確保を優先しましょう。

3 出口の確保も大切

揺れの合間をみて、ドアや窓を開け放ちます。大きな地震で、ドアや窓が開かなくなることもあり、特にマンションや団地などの高層住宅では、出口を失ったら避難ができません。

4 火災が起きたら素早く消火



万一出火したら、まず消火器や三角バケツなどの消火用具でボヤのうちに消し止めましょう。大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。

5 割れたガラスの破片に注意

地震ではガラス窓が割れて、その破片で大ケガをするケースも多いようです。家から避難する時は、ガラス破片に注意し、子どもは抱いて歩くようにしましょう。

6 がけ崩れや津波に注意

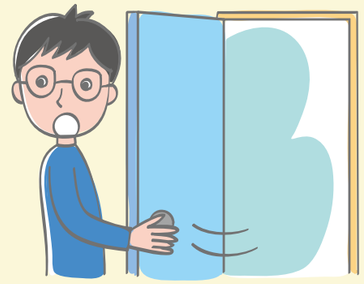
崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている場合があるので、これらの場所から遠ざかりましょう。弱い地震であっても揺れを感じたときは、ラジオなどで津波情報をよく確認し、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

7 家具は動かないように固定

棚は転倒防止金具で固定し、扉付きの食器棚は簡単に扉が開かないようにフックを付け、ガラス部分には飛散防止フィルムを貼るなどの予防策を。

8 家庭の防災会議

大地震のとき、家族があわてず行動できるように、ふだんから避難場所、避難経路の確認、家族間の連絡方法やおち会う場所はどこにするかなどを話し合いましょう。



緊急地震速報とは?

地震波は主に2種類【（P波:初期微動）と（S波:主要動）】あり、最初にP波が伝わり、次に強い揺れのS波が伝わります。緊急地震速報は、この性質を利用し、地震の位置や大きさを瞬時に推定し、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、強い揺れが来ることをお知らせすることを目指す情報です。テレビやラジオなどで緊急地震速報を見聞きした場合、あわてずに落ち着いて行動をしましょう!

※震源に近い地域では、緊急地震速報が間に合わないことがあります。

緊急地震速報 利用の心得

ふだんから、
家屋の耐震化や家具の固定など、
地震に備えましょう!

地震の揺れを感じたら…	緊急地震速報を見聞きしたら…
緊急地震速報がなくても	地震の揺れを感じなくても

＼まわりの人にも声かけながら／

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません。

1 人がおおぜいいる施設では

●係員の指示にしたがう
●あわてて出口に走り出さない

2 自動車運転中は

●あわててスピードをおとさない
●ハザードランプを点灯しまわりの車に注意をうながす
●急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす

3 エレベーターでは

●最寄りの階に停止させすぐにおりる

4 家庭では

●頭を保護し丈夫な机の下など安全な場所に避難する
●あわてて外へ飛び出さない
●むりに火を消そうとしない

5 屋外（街）では

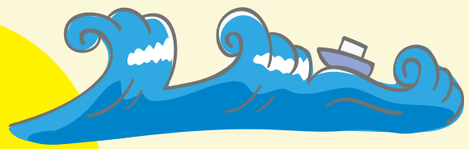
●ブロック塀の倒壊に注意
●看板や割れたガラスの落下に注意

6 鉄道・バス乗車中は

●つり革、手すりにしっかりつかまる

出典：気象庁（リーフレット「緊急地震速報～まわりの人に声かけながら、あわてず、まず身の安全を!!～」）

津波災害に備えて



津波と避難行動

津波が陸に上がってくるときの速度は、1秒間に約10m程度（人が全速力で走る速さ）であるといわれており、津波が目前に迫ってから逃げるのは困難です。津波警報が発表されたら即座に避難を開始しましょう。震源域が陸に近いケースでは、地震発生後、数分のうちに津波が襲ってくる場合があります。津波警報の内容を確かめている間に第1波がやってくるかもしれません。また、津波警報が出されたかどうか確認できない環境にいる場合も多いので、海岸周辺にいて大きな地震動を感じた場合は津波警報の有無にかかわらず、直ちに高い所へと避難する必要があります。

1 一瞬にして襲いかかる大津波 地震が起きたら高い場所へ避難!

「沖縄では地震がない」と思っていませんか?沖縄でも、毎年約70件の地震（震度1以上）が発生しています。
1882年からこれまでの間に、震度5以上の地震が19件発生しているのです。
小さな島の集まりである沖縄では、震央のほとんどがその近海であり、陸地に当たる確率が低いため「地震がない」と思われているようです。
2011年3月11日に発生した「東日本大震災」では、1万5000人を超える方々が亡くなってしまいました。
私たちは今できることを正しく理解し、また、記憶にとどめ、この教訓を決して忘れてはいけません。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。

2 津波警報・注意報について

津波警報・注意報の種類

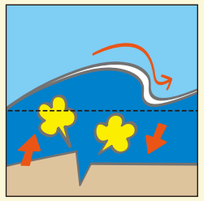
種類	発表基準	発表される津波の高さ 数値での発表（津波の高さ予想の区分）	発表される津波の高さ 巨大地震の場合の発表	想定される被害と取るべき行動
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	**10m超**（10m<予想高さ）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m（5m<予想高さ≦10m）		
		5m（3m<予想高さ≦5m）		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	**3m**（1m<予想高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	**1m**（0.2m≦予想高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

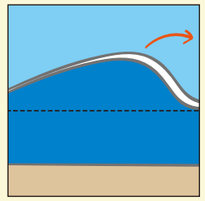
出典:気象庁（津波警報・注意報・津波情報・津波予報について）

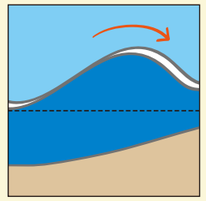
- 日本沿岸で起こる大地震による津波予報は、地震発生後約3分を目標に発表されます。
- 津波の高さは、地震の規模（マグニチュード）や起こり方によってちがいます。
- 久米島町は、「沖縄本島地方」の予報区に属しています。津波警報は予想される津波の高さから、津波警報または津波注意報に分けて発表されます。

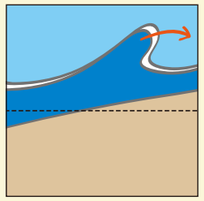
3 津波はどのように襲ってくるのか

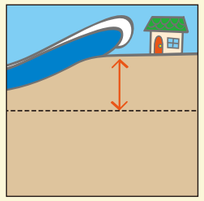
海底で起きた地震が原因で、海水が陸地に押し寄せる現象が津波です。


❶地震による海底面の隆起沈降が、海水の上下変動を起こす。


❷波となって四方に伝わる。


❸水深が浅くなるに従って波が高くなる。


❹さらに海底の地形の影響で波が高くなる。


❺高さを増した波は陸上に達し海岸を駆け上る。

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れがあったらすぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

4 高台まで避難する時間がない場合

津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

風水害に備えて

常に最新の台風情報を!

沖縄地方に近づく台風は、最も勢力が強くなったり、移動速度が遅くなったりするため、沖縄地方では長い間、台風の影響を受ける場合があります。平成13年の台風16号は、数日間複雑な動きをしながら沖縄近海に停滞したため記録的な大雨や暴風となりました。平成5年の台風13号は最大勢力で久米島を直撃し、最大瞬間風速53.9m/sを観測していますが、その瞬間に風速計が破壊され、非公式にはさらに強い強風が観測されています（電柱をなぎ倒すなど甚大な被害をもたらしています）。台風災害の防止・軽減には普段からの備えと早めの台風対策、また台風接近時においては、常に最新の台風情報を入手し不要不急の外出を控えましょう。

台風

風の強さと吹き方

予報用語	平均風速（m／秒）	人への影響
やや強い風	10～15	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。
強い風	15～20	風に向かって歩けない。転倒する人もでる。
非常に強い風	20～25	しっかりと身体を確保しないと転倒する。
	25～30	立っていられない。
猛烈な風	30～	屋外での行動は危険。

出典:気象庁（雨と風の表）

1 台風が接近したら、まず家の補強を

補強する場所は、雨戸・窓ガラス・塀・外まわりの物干し・アンテナや看板など。接近に時間がある時は、防水シートや角材なども用意しておきましょう。また植木鉢は強風で倒されたり飛ばされるおそれがあるので一カ所にまとめておくと安全です。

2 停電や断水に備え、非常用品のチェックを

食料、飲料水、懐中電灯、ラジオ、ライター、簡単な医薬品ぐらいは揃えて、リュックサックに入れておきます。

3 無理は禁物

洪水などにより避難路が浸水している場合は、無理に避難をせず、自宅2階や高い所で救助を待ちましょう!
ひざ下程度の深さでも流れが早い場合は非常に危険です!

大雨・雷

雨の強さと降り方

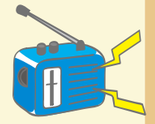
予報用語	1時間雨量（ミリ）	人の受けるイメージ
やや強い雨	10～20	ザーザーと降る
強い雨	20～30	どしゃ降り
激しい雨	30～50	バケツをひっくり返したように降る
非常に激しい雨	50～80	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）
猛烈な雨	80～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる。

出典:気象庁（雨の強さと降り方）

局地的大雨から身を守る!

近年、局地的な大雨により、河川や排水溝などで急激な増水（鉄砲水）被害が発生しております。これら急激な増水（鉄砲水）を事前に予測することは困難ですが、「付近に黒い雲があり周辺で大雨が降っている」「周辺で雷鳴が聞こえる」などの現象を確認した場合、上流で雨が降っている可能性がありますので、河川や排水溝などの場所から直ちに離れましょう。また、このような状況下で、子どもたちが河川付近などで遊んでいる場合は、地域で声を掛け合い、子どもたちを危険から守りましょう。

1 大雨や洪水などの警報と注意報について



警報は重大な災害が起こるおそれがある場合、注意報は災害が起こるおそれがある場合に発表されます。これらの警報・注意報は、市町村ごとに発表されます。その他、豪雨や長雨によって土砂災害の危険性が高まった場合には、「土砂災害警戒情報」が発表されます。

※市町村ごとの警報・注意報の発表状況は、気象庁ホームページで確認できます。

2 山間部・傾斜地・がけ近くは、土砂災害に注意

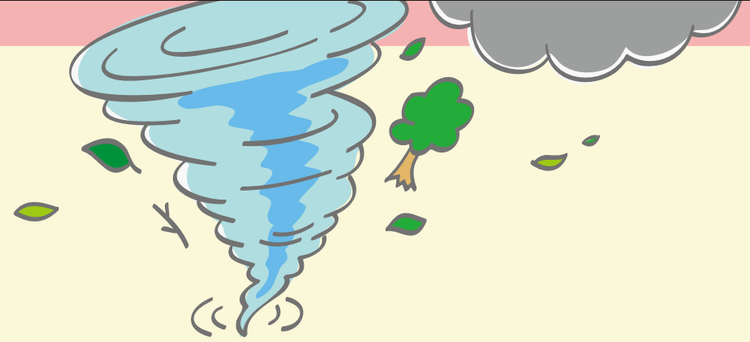
大雨や集中豪雨で発生する土砂災害の前兆現象として、
- 小石がパラパラ落ちる
- 地面にひび割れができる
- 斜面からにごった水が流れ出る　など

がみられますので、これらを発見したら注意しましょう。
また、避難勧告が出たら、すぐに避難しましょう。

3 雷の被害にあわないために

雷の音と稲妻の間隔が近くなったら、家の中に入り、テレビなどのコンセントを抜き、部屋のまん中にいるようにしましょう。また、野外では体を低くし、雷が遠ざかるのを待ちましょう。

竜巻から身を守る



沖縄県は竜巻発生率日本一！

沖縄県は竜巻発生確認数が日本一で、特に夏場は台風や熱帯低気圧などに伴い多くの竜巻が確認されております。

竜巻注意情報をご存知ですか？

「竜巻注意情報」は、積乱雲の下で発生する竜巻やダウンバーストなどによる激しい突風に対して注意を呼び掛ける気象情報で、沖縄気象台では、今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっている場合、「竜巻注意情報」を発表しております。

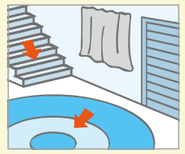
※現在の観測・予測技術では、竜巻等激しい突風の発生を事前に予測できない場合もあります。

竜巻発生の前兆現象

1. 真黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
2. 雷鳴が聞こえたり、雷光が見える
3. 急に冷たい風が吹き出す
4. 大粒の雨や「ひょう」が降りだす

異変を感じたら **頑丈な建物に移動!**

竜巻からの身の守り方



屋内にいる場合

- 窓を開けない　●窓から離れる
- カーテンを引く　●雨戸・シャッターをしめる
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する
- 部屋の隅・ドア・外壁から離れる
- 丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る

屋外にいる場合

- 車庫・プレハブを避難場所にしない
- 橋や陸橋の下に行かない
- 近くの頑丈な建物に避難する
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 無い場合は、近くの水路やくぼみに身をふせ両腕で頭と首を守る
- 飛来物に注意する

不発弾を見つけたら

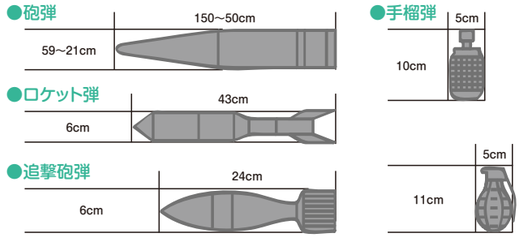
戦後60年、なおも残る不発弾！

第二次世界大戦において、熾烈な地上戦の場となった沖縄は戦後60年余を経過した今日においても不発弾の発見件数が依然として高い水準にあり、今なお多くの不発弾が埋没していると推定されております。長い時間が経っておりますが、その殺傷力、破壊力は全く変わりなく極めて危険であり、私たちの命と生活を脅かすものとなっております。不発弾による事故を無くすため、発見した際は警察や第十一管区海上保安本部・久米島町役場に連絡するよう町民の皆様のご協力をお願いします。

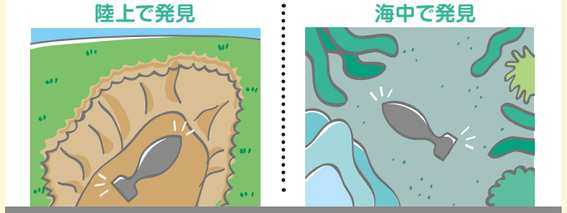
不発弾って何？

「不発弾」とは、戦争の時に使われた砲弾や、航空機から投下された爆弾等で、地上や海に落下したが、発火せず“不発”となったもの、あるいは、その疑いのあるものを一般に不発弾と呼んでおります。このような不発弾は、起爆装置（信管）の安全装置が外されており、何らかの衝撃で何時でも発火装置が起動（作動）する状態にあることが予想され非常に危険です。また、長い年月によって風化され、姿、形が変わりはててしまい、見分けがつかない場合もあります。

発見される主な不発弾



不発弾を見つけたら（不発弾かな？と思ったら）



「さわらないで!」連絡しましょう
陸上→警察または久米島町　／　海中→第十一管区海上保安本部または久米島町

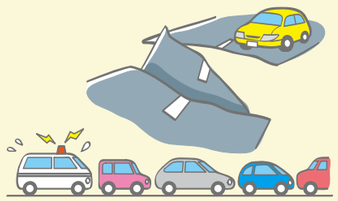
避難するときは

避難勧告が発令された場合の住民に求める行動

※このような情報などの発令は、防災行政無線や広報車、テレビなどを通じて周知します。

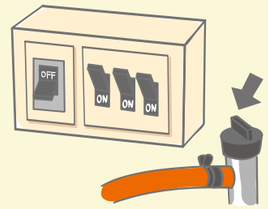
避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難勧告より前の段階で発令され、避難に時間を要する高齢者や障がい者などに避難開始を、その他の人々に避難準備を求めるものである。	勧告とは、その地域の居住者などを拘束するものではないが、居住者などが勧告を尊重することを期待して、避難のための立ち退きを勧め、または促す行動。	指示とは、被害の危険が目前に切迫している場合などに発せられ、勧告よりも拘束力が強く、居住者などを避難のため立ち退かせるものである。
住民に求める行動 ❶要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、避難場所などへの避難行動を開始 ❷上記以外の者は、家族などとの連絡、非常用持出品の用意など、避難準備を開始	**住民に求める行動** ❶通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所などへの避難行動を開始	**住民に求める行動** ❶避難勧告などの発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ❷まだ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、行動する時間が間に合わない場合は、生命を守る最低限の行動

1 避難は徒歩で自動車は厳禁



2 子どもやお年寄りの手は、しっかり握って行動

3 避難の前に火元（ガスの元栓を閉める）・電気の確認（ブレーカーから切る）

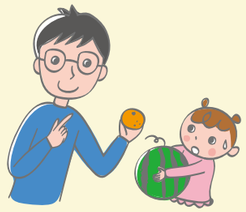


4 外出の家族のために避難先をメモ

避難時の服装

5 うわさ話はデマの元

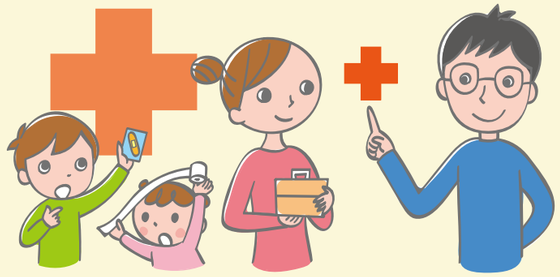
6 荷物は最低限に



7 ご近所で協力しあって避難所へ

8 避難所への移動は塀ぎわ、狭い道をさける

応急手当について



迅速な対応が尊い命を救います！

大規模な災害が発生した時などは、けが人が多く発生することが予想され、救急車がすぐに来るとは限りません。その場に居合わせた“あなた”の迅速な対応が尊い命を救うかもしれません。落ち着いて負傷者の状況を確かめて、勇気をもって応急手当てを行いましょう。久米島町消防本部では、応急手当の講習会を開催していますので、講習会の受講を希望される方は、消防本部にお問い合わせください。

心肺蘇生法

1 意識の確認

「大丈夫ですか?」と大声で呼びかけ、反応があるかどうか確認する。

2 助けを呼ぶ

反応がなければ、大声で「誰か救急車を呼んで」と助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する。

3 呼吸の確認

普段どおりの呼吸をしているか確認する。
- ●胸や腹部の動きがない。
- ●約10秒間確認しても呼吸の状態がわからない。
- ●しゃくりあげるような、途切れ途切れに起きる呼吸。

4 心臓マッサージの実施（胸骨圧迫）

- ●傷病者に普段どおりの呼吸がない場合には、ただちに心臓マッサージを行い全身に血液を送る。
- ●胸の真ん中を重ねた両手で「強く、早く、絶え間なく」圧迫します。
- ●肘をまっすぐ伸ばし、胸が5㎝沈む程度に強く圧迫する。
- ●1分間に少なくとも、100回の早いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫する。

5 人工呼吸の開始

- ●片手を額に当て、もう一方の手の人差し指と中指の2本をあご先に当て頭を後ろにのけぞらせ、あご先を上げ気道の確保をする。
- ●人工呼吸をためらう場合は、心臓マッサージのみ実施。

6 AEDの使用手順

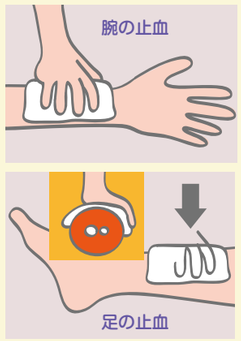
- ●心肺蘇生法を実施していてもAEDが届いたら、すぐにAEDを使う準備を始めます。
- ●AEDが到着したら電源を入れ、音声ガイダンスに従って操作する。

7 心肺蘇生法の繰り返し（救急車が到着するまで）

- ●傷病者が目を開けたり、普段どおりの呼吸が出現するまで30回の心臓マッサージと2回の人工呼吸を繰り返し行う。

直接圧迫による止血法

- ●きれいなガーゼ、ハンカチ等を傷口に当て、手で圧迫する。
- ●大きな血管からの出血の場合で片手で圧迫しても止血しないときは、両手で体重を乗せながら圧迫する。
- ●血液に直接触れないように注意する。ゴム手袋（ない場合はビニールやレジ袋等に手を通して）を着用する。



やけど、骨折

やけど

- ●傷口に直接強い水圧がかからないようにして、水道水で十分に冷やす。
- ●衣服を着たままやけどをした場合は無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ●水疱（水ぶくれ）を破らない。

骨折

外から見た状況で骨折の判断はできません。したがってこの処置はあくまでも医療機関や救急隊に引き渡すまでの処置になります。

- ●安静にする。
- ●患部を手で固定する。できれば患部を心臓よりも高くする。
- ●傷口が開いている場合は清潔なガーゼ等で圧迫する。
- ●移動する必要がある場合は、患部を固定するための副木として近くにある本やダンボール、枝などを利用する。

地区別防災マップ

土砂・洪水災害ハザードマップ | 津波・高潮ハザードマップ | 避難所マップ

自宅や職場周辺の危険度を把握しておけば災害時に迅速な対応をとることができます。
前もって家族と避難場所を確認しあい、
自宅や職場周辺から最寄りの避難所へ危険地域や細い通りを避けながら
避難経路を実際に歩いてみることも大切です。

災害基礎知識

土石流

土石流とは、土・石・砂などが集中豪雨などで大量の水とまじり合って、津波のように流れ出てくる現象です。

地すべり

地すべりとは、粘土などのすべりやすい層に地下水が作用し、上側の地面がそっくりすべり落ちる現象です。

がけ崩れ

がけ崩れとは、雨により地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる現象です。

津波

地震により海底が盛り上がると広い範囲で海面も持ち上げられ、凄まじいスピードで波が陸地を襲う現象です。

高潮

高潮は台風や強風などで海面が異常に高くなり、防波堤などを越え、海水が押し寄せる現象です。

地震

地下の岩盤が周囲から押されることによってある面を境としてずれる現象です。

もしものときのために！

土砂災害は雨量に注意

1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら注意が必要です。

土石流から身を守る

土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

津波・高潮から身を守る

なるべく高い所へ避難します。河川の氾濫や土砂災害も併発することがありますので危険地域を避けて行動しましょう。

避難場所を確認

日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

比屋定校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

土石流
危険渓流箇所

急傾斜地
崩壊危険箇所

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

比屋定校区

津波・高潮

ハザードマップ凡例

最大浸水深

- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

海抜（10mまで）

- 2.5m
- 5m
- 7.5m
- 10m

00 災害時広域避難所
及び津波避難場所※

避難経路

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、
下線付きの避難所名で示しています。

県道

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

比屋定校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

宇江城
比屋定
県道宇根・仲泊線
2 宇江城公民館
3 比屋定公民館
宇江城
37 比屋定小学校
比屋定
242
航空自衛隊第54警戒隊
比屋定校区
242
阿嘉
4 上阿嘉公民館
県道宇根・仲泊線
5 下阿嘉公民館
大岳校区
白瀬二号ダム
白瀬一号ダム
上江洲ダム
清水校区
大田
嘉手苅
久米島校区
美崎校区
本庄池
フサキナ池
真謝港
60 西アケタ原付近
真謝
38 美崎小学校
浦地川
儀間

阿嘉
4 上阿嘉公民館
県道宇根・仲泊線
比屋定校区
5 下阿嘉公民館
242
本庄池
真謝港
フサキナ池
60 西アケタ原付近
儀間
真謝
38 美崎小学校

美崎校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

土石流
危険渓流箇所

急傾斜地
崩壊危険箇所

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

6 真謝公民館
県道宇根・仲泊線
美崎校区
仲里漁港
久米島漁業協同組合
宇根
7 宇根公民館
89
8 真泊公民館
比嘉池
59 登武那覇公園
58 宇根マチャウ原付近
57 宇根渠石付近
儀間池
タイ原池
56 宇根赤平頂上付近
55 謝名堂カラヤ原付近
謝名堂
50 比嘉神屋付近
9 泊公民館
39 久米島町役場仲里庁舎
10 謝名堂公民館
仲里校区
比嘉
32 球美中学校
36 仲里小学校
JAおきなわ久米島支店
89
11 比嘉公民館
久米島校区
15 山城公民館
山城
主要地方道久米島空港・真泊線
真我里
12 真我里公民館
43 イーフ情報プラザ
奥武島 奥武
オーハ島 奥武

美崎校区

津波・高潮

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

ハザードマップ凡例

最大浸水深
- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

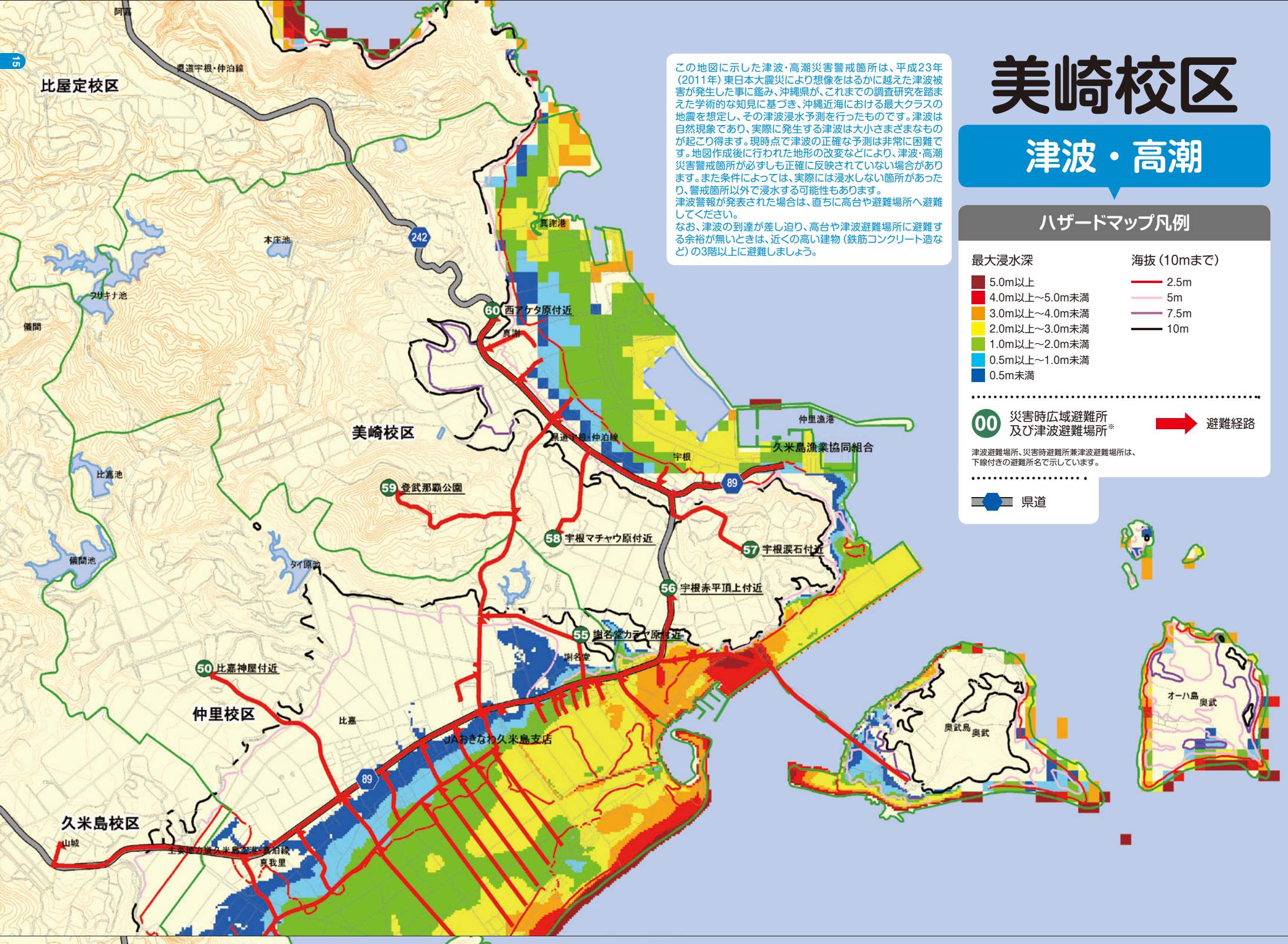
海抜（10mまで）
- 2.5m
- 5m
- 7.5m
- 10m

00 災害時広域避難所及び津波避難場所※

避難経路

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道



美崎校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

仲里校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

- 土石流危険渓流箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

- 県道

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

仲里校区

津波・高潮

ハザードマップ凡例

最大浸水深

- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

海抜（10mまで）

- 2.5m
- 7.5m
- 5m
- 10m

- 00 災害時広域避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

- 避難経路
- 県道

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

仲里校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

久米島校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

土石流危険渓流箇所

急傾斜地崩壊危険箇所

00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

久米島校区

津波・高潮

ハザードマップ凡例

最大浸水深

- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

海抜（10mまで）

- 2.5m
- 5m
- 7.5m
- 10m

00 災害時広域避難所及び津波避難場所※

避難経路

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

久米島校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

清水校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

- 土石流 危険渓流箇所
- 急傾斜地 崩壊危険箇所
- 00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※
  - 津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。
- 県道

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

清水校区

津波・高潮

ハザードマップ凡例

最大浸水深
- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

海抜（10mまで）
- 2.5m
- 5m
- 7.5m
- 10m

- 00 災害時広域避難所及び津波避難場所※
- 避難経路
  - 津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。
- 県道

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

清水校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、
下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

「土石流危険渓流箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」は、沖縄県の「土砂災害マップ」（平成24年1月現在）により、土砂災害による被害のおそれのある箇所の概略を表示したもので、土砂災害の発生や被害の範囲について保証するものではありません。この地図に表示されている場所以外においても、土砂災害が発生する可能性がありますので注意が必要です。

大岳校区

土砂・洪水災害

ハザードマップ凡例

土石流
危険渓流箇所

急傾斜地
崩壊危険箇所

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

この地図に示した津波・高潮災害警戒箇所は、平成23年（2011年）東日本大震災により想像をはるかに越えた津波被害が発生した事に鑑み、沖縄県が、これまでの調査研究を踏まえた学術的な知見に基づき、沖縄近海における最大クラスの地震を想定し、その津波浸水予測を行ったものです。津波は自然現象であり、実際に発生する津波は大小さまざまなものが起こり得ます。現時点で津波の正確な予測は非常に困難です。地図作成後に行われた地形の改変などにより、津波・高潮災害警戒箇所が必ずしも正確に反映されていない場合があります。また条件によっては、実際には浸水しない箇所があったり、警戒箇所以外で浸水する可能性もあります。
津波警報が発表された場合は、直ちに高台や避難場所へ避難してください。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

大岳校区

津波・高潮

ハザードマップ凡例

最大浸水深
- 5.0m以上
- 4.0m以上～5.0m未満
- 3.0m以上～4.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

海抜（10mまで）
- 2.5m
- 5m
- 7.5m
- 10m

00 災害時広域避難所及び津波避難場所※

避難経路

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

●津波避難場所
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。
●災害時避難所
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

大岳校区

避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所※

津波避難場所、災害時避難所兼津波避難場所は、下線付きの避難所名で示しています。

県道

久米島町
避難所マップ

久米島町
避難所マップ

ハザードマップ凡例

00 災害時広域避難所、
災害時避難所及び津波避難場所

県道

●津波避難場所（1、24、25、31、44～62）
津波避難場所は海抜15m以上の場所にある避難所となっています。
なお、津波の到達が差し迫り、高台や津波避難場所に避難する余裕が無いときは、近くの高い建物（鉄筋コンクリート造など）の3階以上に避難しましょう。

●災害時避難所（1～40、42、43、63）
久米島町では、小中学校、公民館、具志川改善センター、高齢者コミュニティーセンター等を指定しています。災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定の避難生活を行うことができる施設となります。
このうち、具志川改善センターと久米島西中学校は、津波避難場所も兼ねています。

防災関係機関

番号	区分	名称	所在地
1	久米島町	**久米島町役場仲里庁舎**	比嘉2870
2		**久米島消防本部**	嘉手苅970
3		**公立久米島病院**	嘉手苅572-3
4	沖縄県警	**那覇警察署久米島交番**	大田484-2
5	自衛隊	**航空自衛隊第54警戒隊**	宇江城2064-1
6	町内公共的機関･その他	**久米島町社会福祉協議会**	比嘉97-4
7		**JAおきなわ久米島支店**	謝名堂905-15
8		**久米島漁業協同組合**	宇根402
9		**久米島町商工会**	嘉手苅658-1
10		**久米商船株式会社**	兼城5

災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所一覧

避難所番号	名称	形式	所在地	海抜（m）
1	具志川農村環境改善センター	災害時避難所兼津波避難場所	仲泊730-1	30
2	宇江城公民館	災害時避難所	宇江城798	106
3	比屋定公民館	災害時避難所	比屋定99-1	101
4	上阿嘉公民館	災害時避難所	比屋定2245-55	180
5	下阿嘉公民館	災害時避難所	阿嘉156-12	138
6	真謝公民館	災害時避難所	真謝66	6
7	宇根公民館	災害時避難所	宇根62-2	4
8	真泊公民館	災害時避難所	宇根556	2
9	泊公民館	災害時避難所	宇根1740	3
10	謝名堂公民館	災害時避難所	謝名堂91	4
11	比嘉公民館	災害時避難所	比嘉33	4
12	真我里公民館	災害時避難所	真我里485	3
13	銭田公民館	災害時避難所	銭田947	2
14	島尻公民館	災害時避難所	島尻50	4
15	山城公民館	災害時避難所	山城48	31
16	儀間公民館	災害時避難所	儀間170	4
17	仲村渠公民館	災害時避難所	仲村渠273-1	98
18	具志川公民館	災害時避難所	具志川647	86
19	仲地公民館	災害時避難所	仲地15	90
20	山里公民館	災害時避難所	山里244	85
21	上江洲公民館	災害時避難所	上江洲229	79
22	西銘公民館	災害時避難所	西銘848	66
23	久間地公民館	災害時避難所	上江洲457-40	43

災害時広域避難所、災害時避難所及び津波避難場所一覧

避難所番号	名称	形式	所在地	海抜（m）
24	北原公民館	災害時避難所兼津波避難場所	北原416	23
25	大原公民館	災害時避難所兼津波避難場所	大原237-1	19
26	鳥島公民館	災害時避難所	鳥島370	4
27	仲泊公民館	災害時避難所	仲泊455	6
28	大田公民館	災害時避難所	大田363	10
29	兼城公民館	災害時避難所	兼城183-1	4
30	嘉手苅公民館	災害時避難所	嘉手苅86	4
31	久米島西中学校	災害時避難所兼津波避難場所	西銘1324	37
32	球美中学校	災害時避難所	比嘉2856	5
33	大岳小学校	災害時避難所	山里177	93
34	久米島小学校	災害時避難所	儀間1	3
35	清水小学校	災害時避難所	鳥島198	8
36	仲里小学校	災害時避難所	謝名堂970	6
37	比屋定小学校	災害時避難所	宇江城2220	110
38	美崎小学校	災害時避難所	真謝103	4
39	久米島町役場仲里庁舎	災害時避難所	比嘉2870	5
40	久米島ホタルドーム	災害時避難所	鳥島115	8
41	久米島多目的広場（パークゴルフ場）	災害時広域避難所	儀間30-7	3
42	仲里高齢者コミュニティーセンター	災害時避難所	真我里366	2
43	イーフ情報プラザ	災害時避難所	比嘉160-57	2
44	大田辻	津波避難場所		21
45	久米島保育所跡	津波避難場所		37
46	中華海鮮　海皇付近	津波避難場所		23
47	兼城バイパス沿い（喜久里宅付近）	津波避難場所		20
48	久米島博物館付近	津波避難場所		28
49	儀間日の出御願一本松付近	津波避難場所		70
50	比嘉神屋付近	津波避難場所		32
51	真我里カニク原付近	津波避難場所		48
52	西銭田原付近	津波避難場所		24
53	銭田森林公園	津波避難場所		36
54	島尻タカマス原付近	津波避難場所		38
55	謝名堂カラヤ原付近	津波避難場所		11
56	宇根赤平頂上付近	津波避難場所		18
57	宇根涙石付近	津波避難場所		44
58	宇根マチャウ原付近	津波避難場所		15
59	登武那覇公園	津波避難場所		105
60	西アケタ原付近	津波避難場所		22
61	大原三叉路付近	津波避難場所		26
62	車検場付近	津波避難場所		29
63	旧久米島中学校	災害時避難所	字儀間5	2

地区別
インデックスマップ